

科目名	医療社会学					DP1 DP5	看護高等課程
学年	2年	分野	基礎	時間数	10時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	医療と深くかかわる現代の死において、インフォームドコンセント、告知、痛み、最後の居場所など、私たちを取り巻く関心事を中心に、具体的な事例を多く活用しながら考えていく。また、その人の死によってもたらされる家族の社会的、精神的な変容についても学ぶ。						
到達 目標	1. 自分なりの死生観をもち、生命への関心を深める。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1~5	「死」について	日本人の死生観、死生学、医療人類学など学際的アプローチ				講義	外部講師
	末期がん	現状					
	子どもと「死」	病児と医療保育、親の死と子ども				講義	
	グリーフ（悲嘆）	グリーフとは、グリーフケアとは				講義	
	コミュニケーション	How to Break Bad News「悪い知らせの伝え方」				講義	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、課題などで総合して評価する。						
教科書	必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点	それぞれのテーマごとに、VTRやDVDその他を使用する。						